

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚
「父方祖母の羽織をデニム着物に合わせた母」
【撮影】和泉海里さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は今号3面をご覧ください。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



沼田正善さん(東向島在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第59回は、2月まで東向島の「向じまぜんや」で地域食堂「みんなのいばしょ」を開催しており、今後も区内で“地域の居場所”を開催する予定の沼田正善さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

2月まで、私が営むうどん店「向じまぜんや」で、週に1回「みんなのいばしょ」という地域食堂を開催していました。ここでは、大人は食事チケットを購入してメッセージを添えて店内に貼り、子どもはそのチケットにメッセージを返すことで食事が食べられる「えがおギフト」という仕組みで子どもたちに食事を提供したり、子どもに勉強や遊びを自由してもらったり、ほかにも様々な催しを開いたりしている地域の居場所です。また、「えがおギフト」の売上

の1%は子ども支援活動に寄付しています。

1月にうどん店を閉店したため、「みんなのいばしょ」は2月までで一旦休止としましたが、これを見聞を広めようと思い、4月からは日本全国や東南アジア・アメリカを数か月かけて巡り、各地の人に直接会って文化や子どもたちの遊び方を学ぼうと考えています。また、その様子をSNSで配信して、子ども支援活動の啓発などもしていく予定です。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

子どもの孤立や非行など、最近の子どもを取り巻く状況を見ていて、子どもたちが心置きなく過ごせて、それを地域で見守れる居場所づくりができないかと思ったのがきっかけです。私が飲食店を営んでいたことから、平成29年に知り合いの飲食店と一緒に「すみだ食堂」という子ども食堂を立ち上げて、子ども支援活動を始めました。ところが、その後のコロナ禍で活動ができなくなってしまい、何かできないかと思って始めたのが「えがおギフト」です。初めは趣旨が伝わりづらい取組でしたが、今では常連客から観光で来た海外

の方まで、様々な人がチケットを買ってくれて、みんなが気軽に子どもを支援してくれていますよ。

今後は各地を巡るために一旦休止しますが、帰ってきた際には、これまでの取組を踏襲しつつ、子どもたちがいろいろなことに挑戦したり、若い人が自分のスキルをほかの人のために活かしたりして、多世代が交流しながら新しいことを始められるような居場所をすみだに作れたらいいと考えています。若い世代の人たちが何でもチャレンジできる居場所を提供して、その人の夢や未来を応援していけたら嬉しいですね。

Q. 沼田さんは、すみだのどんなところが好きですか？

すみだには、新しいことに挑戦している人が多いと思います。例えば、すみだの中小企業の経営者の方などは、同じことをずっと続けているだけでは駄目だと、みんなが新しく何かに挑戦してい

ますよね。熱い気持ちを持って物事に向き合ったり、周囲を盛り上げたりできる人がいるすみだは好きですし、私もいろいろなことに挑戦しようと思えるパワーをもらっています。



◀「えがおギフト」の子どもからのメッセージは、ノートに書いてもらっています。こうやって形に残すと、支援が繋がった実感を持ってもらえますね。



▶子どもたちに楽しんでもらえる居場所を作ろうと、日々いろいろなことに挑戦しています。



◀4月から各地を巡る様子の配信は、私の活動をまとめているリンク集からもご覧になれます。ぜひ、のぞいてみてください！

次回登場してくださるのは・・・

東向島でオープンな書齋「LE PETIT PARISIEN」を運営する石川順一さんです。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

子どもたちの意見や提案をすみだのまちづくりに！

墨田区長

山本亨

1月28日、すみだリバーサイドホールで「すみだ“こども”タウンミーティング」を開催しました。

このタウンミーティングは、区民の皆さんと私が直接対話することで、区の問題を一緒に考え、すみだのまちをともに築いていくことを目的としています。今回初めて、小学校5・6年生を対象に実施し、区内の各小学校から35人の参加がありました。

区では現在、子ども・子育て支援を重要な施策として、力を入れて取り組んでいます。国も「こども基本法」という法律をつくりました。この法律には、“こども”が自分たちに関係することに対して意見を言える機会の確保

が大切であると明記されており、小学生の皆さんが日頃どのようなことに関心を持っているのか、声に出してもらうことはとても大事なことだと考えています。

開催当日は、小学生ならではの発想と新たな視点から様々な意見が飛び交い、とても充実した意見交換になりました。その中には、未来のすみだにつながる具体的な提案も数多くあり、今後の区政運営に活かしていきたいと思っています。

そして、2月1日の令和6年度墨田区予算案記者発表では、来年度の予算案を「つながりが織り成す“人”が輝くまち 明日の“すみだ”を共創する予算」と題して公表しました。こ

れからも、子どもから高齢者まで、あらゆる世代の方々とのつながりを大切にしながら、持続可能なすみだの未来に向けて「暮らし続けたい、働きたい、訪れたいまち」の実現をめざしていきます。



「すみだ“こども”タウンミーティング」にて参加した小学校5・6年生の皆さんと

